

学期	月	単元名	配 当 時 数	学習内容	評価の観点と評価標準			
					評価資料・評価方法等			
1 学 期	4	式の計算	20	・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ・因数分解 ・公式を利用する因数分解 ・式の計算への利用	（式の計算） ◆式の展開や因数分解に関心をもち、それらの計算をしようとしている。 ◆公式を使って、展開や因数分解に意欲的に取り組む。 （平方根） ◆平方根に関心をもち、数の概念をさらに深めていこうとする。 ◆無理数の意味を知り、いままでの数とのちがいが共通点に関心をもち、数を分類・整理しようとする。 ◆根号を含む式の計算に意欲をもって取り組もうとする。 （2次方程式） ◆2次方程式やその解を求めることに関心をもつ。 ◆因数分解や平方根の考えを利用したり、 $x^2+px+q=0$ の形の2次方程式を平方の形になおしたりするなど、既習の内容に帰着させて、2次方程式の解き方を調べようとする。 ◆問題を解決するのに進んで2次方程式を利用しようとする。	（式の計算） ◆ $(a+b)(c+d)$ の展開から、乗法の公式を導き出すことができる。 ◆素因数分解、因数分解の意味がわかる。 ◆問題解決に、文字を使用することができる。 （平方根） ◆2乗してaになる数として、数aの平方根を考えることができる。 ◆数の平方根を含む式の計算を、既習の計算と関連づけて考えることができる。 （2次方程式） ◆平方根を求める方法や因数分解を利用して、2次方程式を解くときの考え方がわかる。 ◆解の公式を導き、公式を用いることよきに気づく。 ◆解の公式の根号の中の値とその方程式の解について関連づけて考察することができる。 ◆問題解決の場面で、2次方程式を用いることができる。	（式の計算） ◆乗法公式を用いて式の展開や因数分解ができる。 ◆式の展開や因数分解を利用して、数や図形の性質を調べることができる。 （平方根） ◆平方根の近似値を、電卓を使って求めることができる。 ◆いままでは学んだ数を、分類して整理することができる。 ◆根号を含んだ式の四則計算や変形ができる。 （2次方程式） ◆因数分解や平方根の考え、解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。その手順を説明することができる。 ◆2次方程式を使って問題を解決することができる。	（式の計算） ◆式の展開、因数分解などに関する用語・記号について説明することができる。 ◆乗法公式を理解している。 （平方根） ◆平方根に関する用語・記号について説明することができる。 ◆平方根には、整数でも分数でもないものがあり、それらが近似値で表せることが理解できる。 ◆無理数、有理数の意味を理解している。 （2次方程式） ◆2次方程式とその解の意味、二次方程式を解くことの意味を理解する。 ◆ $x^2+px+q=0$ の形の2次方程式を平方の形になおす方法を理解し、平方根の考えを利用して解くことができることを理解している。 ◆2次方程式を使って問題を解決する手順を理解している。
	5	平方根	16	・正方形の1辺の長さ ・平方根 ・無理数と有理数 ・根号を含む式の乗除 ・根号を含む式の加減	2次方程式 ・2次方程式の解き方 ・因数分解・平方根の考えによる解き方 ・式の変形による解き方 ・xの係数が奇数の2次方程式 ・2次方程式の解の公式 ・2次方程式の利用	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト
	6							
	7	2次方程式	12	・2次方程式 ・2次方程式の解き方 ・因数分解・平方根の考えによる解き方 ・式の変形による解き方 ・xの係数が奇数の2次方程式 ・2次方程式の解の公式 ・2次方程式の利用	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	
	9	関数 $y=ax^2$	15	・2乗に比例する関数 ・ $y=ax^2$ のグラフ ・放物線 ・変域、変化の割合、放物・線と直線 ・グラフの利用、 $y=ax^2$ の利用	（関数 $y=ax^2$ ） ◆身のまわりには、倍々に変化する関係（指数関数）になる関数やグラフが階段状になる関数などがあることに気づき、変化のようすを調べようとする。 ◆事象の中には、 $y=ax^2$ で表せる関数関係があることに関心をもち、	（関数 $y=ax^2$ ） ◆関数やグラフが階段状になる関数について、変化のようすを考察することができる。 ◆倍々に変化する関係（指数関数）になる関数について、変化のようすを1次関数や同じような関数と比較し、考察することができる。 ◆いろいろな事象を関数 $y=ax^2$ としてとらえ、変化や対応のようすを考察することができる。 ◆変化の割合について、1次関数とのちがいをグラフと関連させて考察することができる。 （相似な図形） ◆合同と相似について、類似性や相違点、性質を調べようとする。 ◆三角形の相似条件や平行線と線分の比に関する性質などにもとづいて、図形の性質を考察することができる。 ◆相似比と面積比・体積比の関係について、図形のしきつめなどを利用して考察することができる。 ◆立体の相似について、平面図形の相似と関連づけて考察することができる。 （円） ◆円周角と中心角に関心をもち、それらの関係や性質を見いだそうとしている。 （三平方の定理） ◆三平方の定理とその有用性を知り、三平方の定理のよきに気づく。 ◆図形の計量に関心をもち、意欲的に取り組もうとする。 （標本調査） ◆身のまわりで行われている調査に関心をもち、その方法や規模などを調べてみようとする。 ◆標本調査が行われるわけを考えようとする。	（関数 $y=ax^2$ ） ◆関数 $y=ax^2$ を表やグラフに表すことができる。 ◆関数 $y=ax^2$ について、変化の割合を求めることができる。 ◆倍々に変化する関係（指数関数）になる関数やグラフが階段状になる関数について、対応する値を求めることができる。 （相似な図形） ◆三角形の相似条件などを使って、図形の性質を証明することができる。 ◆平行線と線分の比に関する性質を、図形の考察や問題解決に活用する。 ◆相似比と面積比・体積比の関係をj用いて、相似な図形の面積や体積を求めることができる。 ◆円周角と中心角の関係をj用いて、角の大きさを求めることができる。 （三平方の定理） ◆三平方の定理の証明を読みとったり表したりすることができる。 ◆三平方の定理を用いて、線分の長さ、面積、体積を求めることができる。 （標本調査） ◆標本調査では、標本を無作為に抽出しなければならぬことや、標本調査が行われるわけを、具体例に即して説明することができる。	（関数 $y=ax^2$ ） ◆身のまわりに、倍々に変化する関係（指数関数）になる関数やグラフが階段状になる関数があることを知る。 ◆関数 $y=ax^2$ に関する用語について説明することができる。 ◆関数 $y=ax^2$ やそのグラフの特徴について説明することができる。 （相似な図形） ◆図形の相似に関する用語・記号について説明することができる。 ◆平行線と線分の比に関する性質について説明することができる。 ◆立体の相似の意味を理解している。 ◆相似比と面積比・体積比の関係を理解している。 （円） ◆円周角と中心角の関係を理解している。 （三平方の定理） ◆三平方の定理や用語、記号について説明することができる。 ◆図形の計量に関する定理や公式を発表できる。 （標本調査） ◆全数調査、標本調査の意味を理解している。 ◆母集団、標本の意味を理解している。 ◆無作為に抽出することの意味を理解している。
	10	相似な図形	21	・相似、相似の位置 ・相似比、三角形の相似条件 ・相似の利用 ・三角形と比 ・中点連結定理、平行線と比 ・相似な図形の面積と体積	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト
11	円	11	・円周角 ・円周角の定理の活用	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	
12								
13								
2 学 期	1	いろいろな問題	24	・計算問題 ・総合問題	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	
	2							
	3							
配当時数（合計）				140	【評価の資料】 ・定期テスト・授業観察（活動・発言） ・プリント、ノート、問題集点検	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	【評価の資料】 ・定期テスト ・小テスト	